

断面 12 B_{D(d)}

適潤性褐色森林土 その1

母材料： 第四系洪積統凝灰岩碎屑物の堆積物

採取地： 青森県青森市郊外油川

青森事業区 102 林班外民地

海拔高： 40 m

地 形： 洪積台地上凸部

方 位： NE

傾 斜： 5°

林 相： アカマツ幼齢林

断面記載：

F-H 2~3 cm 黒褐色 (7.5 YR ²/₂), アカマツ, カシワ, ミズナラ等の落葉落枝の腐朽物, やや密に堆積, 湿。

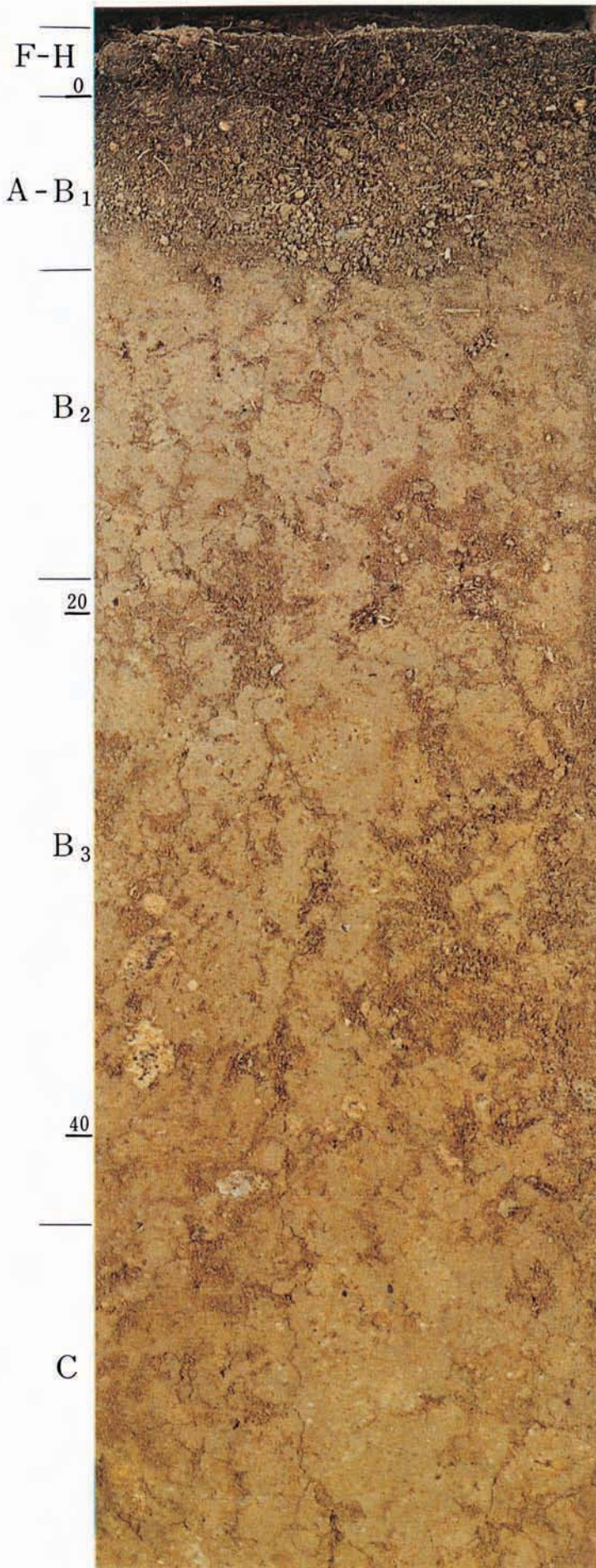
A-B₁ 7 cm 暗褐色 (7.5 YR ³/₄), 腐植に乏し, 礫なし, 埴土, 粒状構造および細かい堅果状構造よく発達, しょう, 潤, 小根多, 下層への推移状態は明。

B₂ 12 cm 褐色 (7.5 YR ⁴/₄), 腐植に乏し, 礫なし, 埴土, カベ状 (一部に細かい堅果状構造), 堅, 潤, 小根あり, 下層への推移状態は漸。

B₃ 25 cm 褐色 (5 YR ⁴/₆), 腐植に乏し, 軟礫 5%, 埴土, 割れ目の多いカベ状, 堅, 潤, 根はまれ, 上部に腐朽根多, 下層への推移状態は漸。

C 30 cm + 明赤褐色 (5 YR ⁵/₈), 腐植に乏し, 軟礫 2%, 埴土, カベ状, すこぶる堅, 潤, 根なし。

採取年月日： 1964年11月 7 日



適潤性褐色森林土のなかで、F層が発達するもの、粒状構造、堅果状構造の見られるものなど、乾燥の影響の認められるものをB_{D(d)}型土壌として区別している。

断面番号12の土壌はF-H層が厚く堆積し、その下に細かい堅果状構造および粒状構造が著しく発達している。これらはみな乾性を示すものである。この土壌はまた、土層全体に堅密、腐植に乏しい。里山では、薪炭材の過度の収奪、落葉の採集が行なわれるため、腐植に乏しく、A層の発達しない土壌がしばしば見られる。これを低山型として細分することがある。断面12の土壌は、また、B₃層以下の土色が赤味を帯びている。将来、このような土壌は褐色森林土の赤褐色系として区分されるであろう。赤褐色系の土壌は母材に特徴があり、一般に第四系洪積統に属するものが多い。新第三系の丘陵地にも出現する。

B_{D(d)}型土壌はスギの造林にむかないが、アカマツ、クロマツの成長はよい。北海道、東北、北陸以外ではヒノキの造林が考えられる。

低山型は通常のB_{D(d)}型より生産力は劣るが、天然生のアカマツがよく更新する。なお、とりあつかいを誤まると、さらに瘠悪化するおそれがある。



採取地の地形

層 位	C %	N %	C/N	pH (1:2.5)	置換酸度 Y ₁	CEC m.e	置 換 性		Ca/CEC	Mg/CEC
							Ca	Mg		
A-B ₁	1.9	0.12	16	5.04	22.6	19.72	2.15	2.93	10.9	14.9
B ₂	1.1	0.08		5.02	36.9	22.88	1.44	2.33	6.37	10.3
B ₃	0.7	0.08		4.90	41.8	22.18	1.06	2.34	4.79	10.6
C										

層 位	土壌中の細粒 (0.2~0.1 mm) の鉱物 100 分比							土 壌 中 の 粘 土 鉱 物			
	石 英	長 石	火 山 ガラス	角閃石	輝 石	磁鉄鉱	凝灰岩粒	アロフェン	ギブサイト	加水ハロイサイト ・ハロイサイト	14~15 Å 鉱 物
A-B ₁	3.7	2.6	8.5	1.1	3.2	2.6	78.3	++	×	+	×
B ₂	0.3	0.3				2.2	97.2	+	×	++	
B ₃	0.3					1.7	98.0	+++	×	++	
C						0.8	99.2	+++	+	+++	